

教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成 30 年度事業分)

令和元年度 (2019 年度)

枚方市教育委員会

目 次

1. 点検及び評価の趣旨	1
2. 点検及び評価の方法	
(1) 点検及び評価の対象	1
(2) 点検及び評価の報告書の見直しについて	1
(3) 点検及び評価手順	2
3. 評価結果（教育委員会の自己点検評価）	
(1) 評価結果	2
(2) 評価結果の内訳	2
(3) 評価基準	4
4. 学識経験者の知見の活用	5
5. 点検評価員会議としての総評	6
6. 平成30年度の枚方市教育振興基本計画における事業の点検評価	
基本方策1 確かな学びと自立を育む教育の充実	7
基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	14
基本方策3 教職員の資質と指導力の向上	20
基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実	22
基本方策5 幼児教育の充実	24
基本方策6 地域とともにある学校づくりの推進	26
基本方策7 学びのセーフティネットの構築	27
基本方策8 学びを支える教育環境の充実	35
基本方策9 基礎的な知識・技術の学習機会の提供と図書館の充実	40
基本方策10 文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進	45
その他の主要事業	50
7. 枚方市教育委員会の平成30年度の活動の概要	
(1) 平成30年度教育委員会定例会・臨時会の開催実績	52
(2) 平成30年度教育委員会協議会案件	52
(3) 平成30年度教育委員会の活動状況	53

令和元年度（2019年度） 教育に関する事務の点検及び評価

1. 点検及び評価の趣旨

「教育に関する事務の点検及び評価」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用し点検及び評価を行ったのでその結果を報告するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検及び評価の方法

（1）点検及び評価の対象

教育委員会の会議等の開催や活動状況等の確認を行うとともに、本市教育振興基本計画に掲げる教育目標「学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく」を達成するための10の基本方策、基本方策を具体化する主要事業について、点検及び評価を行います。

（2）点検及び評価の報告書の見直しについて

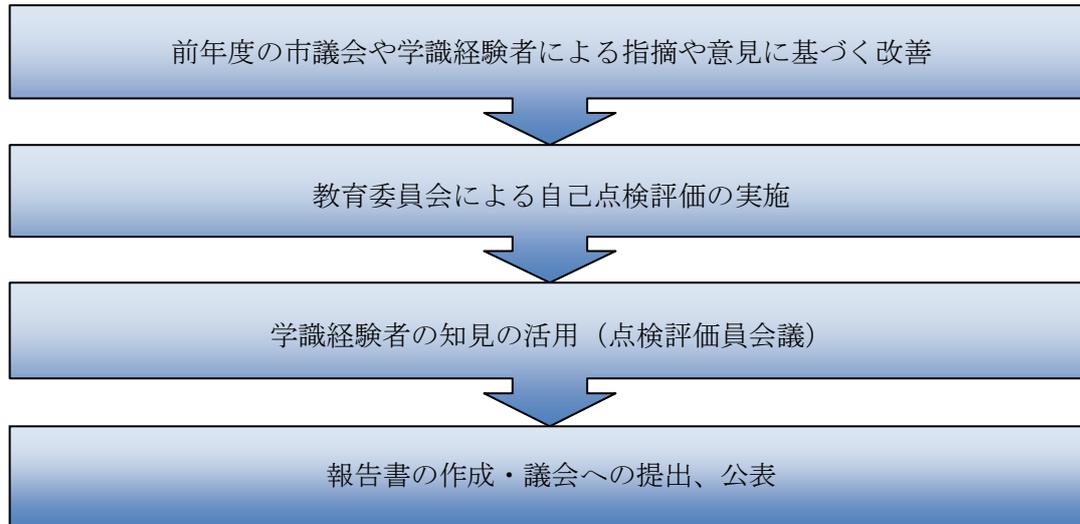
前年度の点検評価員会議及び市議会でのご意見を受け、市民にわかりやすい報告書となるよう様式の変更や評価基準の明確化などの見直しを行いました。

<見直し点>

○実績値・目標値・達成割合の3項目において、昨年度の実績だけでなく過去3年度分の指標を掲載

(3) 点検及び評価手順

平成 30 年度の点検及び評価は、次の手順で実施します。



3. 評価結果（教育委員会の自己点検評価）

(1) 評価結果

平成 30 年度の主要事業を下表（3）の評価基準により点検評価を行った結果は次のとおりです。

評 価	平成 30 年度主要事業
達成	28 件
概ね達成	22 件
未達成だがその方向に進んでいる	7 件
未達成	1 件
合 計	58 件

(2) 評価結果の内訳

基本方策	主要事業	評価
基本方策 1	① 小中一貫教育推進事業	概ね達成
	② 学校園活性化事業	達成
	③ 枚方市少人数学級充実事業	達成
	④ 学校 I C T 機器等整備業務	達成
	⑤ 多文化共生教育研究事業	達成
	⑥ 英語教育推進事業	概ね達成
	⑦ 読書活動推進事業	概ね達成
	⑧ 進路指導等事務	未達成だがその方向に進んでいる
	⑨ 放課後自習教室事業	達成
基本方策 2	① 学校園健康管理事業	達成
	② 健康診断事業	概ね達成
	③ 人権教育推進研究事業	達成
	④ 小中一貫教育推進事業【再掲】	—
	⑤ 学校園活性化事業【再掲】	—
	⑥ 学校給食における地元農産物利用促進事業	概ね達成

	⑦ 食物アレルギー対応推進事業	達成
	⑧ 文化財啓発普及事業	達成
	⑨ 野外活動センター利用促進事業	概ね達成
	⑩ 部活動指導協力者派遣事業	未達成だがその方向に進んでいる
	⑪ 学校支援社会人等指導者活用事業	概ね達成
基本方策 3	① 枚方市教職員育成事業	概ね達成
	② 授業の達人養成・教科研究事業	概ね達成
	③ 学校園活性化事業【再掲】	—
基本方策 4	① 支援教育推進事業	達成
	② 通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	達成
	③ 枚方市教職員育成事業【再掲】	—
基本方策 5	① 幼稚園保護者支援充実事業	達成
	② 市立幼稚園における3歳児保育実施事業	概ね達成
基本方策 6	① コミュニティ・スクール推進事業	達成
基本方策 7	① 小学校安全監視事業	達成
	② 通学路等安全対策事業	達成
	③ 「心の教室相談員」配置事業	概ね達成
	④ スクールアドバイザー派遣事業	達成
	⑤ 教育相談事業	概ね達成
	⑥ 生徒指導充実事業	達成
	⑦ いじめ問題対策事業	概ね達成
	⑧ 不登校児童・生徒支援事業	未達成だがその方向に進んでいる
	⑨ 適応指導教室事業	未達成だがその方向に進んでいる
	⑩ スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業	概ね達成
基本方策 8	① 学校園施設維持補修事業	概ね達成
	② 学校施設整備事業	達成
	③ 学校規模等適正化事業	未達成
	④ 学校ICT機器等整備業務【再掲】	—
	⑤ 校務の情報化推進事業	概ね達成
	⑥ 学校給食事業	概ね達成
	⑦ 中学校給食充実事業	未達成だがその方向に進んでいる
	⑧ 第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業	達成
基本方策 9	① 社会教育活動推進事業	達成
	② 図書館資料購入手務	達成
	③ 香里ヶ丘図書館建替事業	達成
	④ 分館・分室巡回業務	概ね達成
	⑤ コンピュータシステム運営事業	概ね達成
	⑥ 読書活動推進事業【再掲】	—
	⑦ 中央図書館運営事業	概ね達成
	⑧ 生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業	達成
基本方策 10	① 野外活動センター利用促進事業【再掲】	—
	② 文化財啓発普及事業【再掲】	—
	③ 文化財保護管理事業	達成
	④ 市指定文化財補助事業	達成
	⑤ 特別史跡百済時跡再整備事業	達成

	⑥ 市史編さん年報発行事務	未達成だがその方向に進んでいる
	⑦ 市民スポーツカーニバル開催事業	概ね達成
	⑧ 各種スポーツ大会等開催事業	概ね達成
	⑨ スポーツ推進事業	達成
その他の 主要事業	1 児童の放課後対策事業	達成
	2 留守家庭児童会室整備事業	未達成だがその方向に進んでいる

(3) 評価基準

評 価	達成割合 (実績/目標)	内 容
達成	100%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が完了した場合 ・ 指標の目標値を実績値が上回った場合
概ね達成	80 以上 100%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指標の目標値と実績値が概ね同様の場合
未達成だがその方向に進んでいる	50 以上 80%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題があり、指標の目標値より実績値がやや低い場合
未達成	50%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題が多く、指標の目標値より実績値が低い場合

4. 学識経験者の知見の活用

教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが行った点検及び評価の結果について、次の学識経験者3人を点検評価員として委嘱し、指摘や意見をいただきました。

- 委員長 和田 良彦（大阪教育大学 副学長）
- 委員 浦嶋 敏之（関西外国語大学 教授）
- 委員 木村 典嗣（税理士）

<点検評価員会議>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、枚方市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見をいただくため、3回の会議を開催します。

点検評価員会議	開催日	案件名
第1回	令和元年（2019年） 7月22日	1. 会議の運営について 2. 教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）（平成30年度事業分）について 3. まとめ
第2回	令和元年（2019年） 7月31日	1. 教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）（平成30年度事業分）について 2. まとめ 3. 点検評価員会議としての総評について
第3回	令和元年（2019年） 8月16日	1. 教育に関する事務の点検及び評価報告書の見直し内容について 2. 点検評価員会議における改善意見への対応について 3. 点検評価員会議としての基本方策ごとの意見について 4. 点検評価員会議としての総評について 5. 教育に関する事務の点検及び評価報告書のまとめ

5. 点検評価委員会議としての総評

本点検評価委員会議は、枚方市教育委員会の「教育に関する事務の点検及び評価」の結果について「適正」とする。以下に、その理由を述べる。

本会議では、点検及び評価を行うにあたり、平成 28 年に策定した教育振興基本計画の基本方策に基づく各項目について、ヒアリング等を行った。

その結果、平成 30 年度主要事業については、幅広い事業が継続的に展開されていること。また、昨年度の評価を踏まえた改善や内容の充実が図られていること。さらに、その結果について適切に自己点検評価がなされていること。以上のことが確認できたことから「適正」と判断した。

また、点検及び評価については、実績値・目標値・達成割合の 3 項目において、昨年度の実績だけでなく過去 3 年度分の指標を掲載し、より市民に分かりやすいものになったと考える。

なお、小学校では令和 2 年度から、中学校では令和 3 年度から新学習指導要領が全面実施されるため、指導内容や指導方法、学校組織のあり方、そして地域と学校の協働関係などについて大きな変化が見込まれる。こうした変化に適切に対応するには、教育行政および点検評価の重要性がより大きくなる。

点検及び評価については、毎年、充実を図られているが、各基本方策における意見をふまえ、各事業のより効果的な取り組みや指標の見直し等について要望する。

枚方市教育行政の今後の更なる質的向上を期待する。

6. 平成30年度の枚方市教育振興基本計画における事業の点検評価

基本方策1 確かな学びと自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。

中学校区で共通の9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続など、「小中一貫教育」を推進する^①ことで、教職員の指導力や学校力の向上を図り、子どもたちの確かな学力と自立を育みます^②。

また、小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し^③、よりきめ細かな指導を実践するとともに、グループ学習やICTの活用等による協働型・双方向型の授業を推進します^④。

さらに、諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し^⑤、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成する^⑥とともに、学校図書館の活用による言語能力の育成^⑦や、労働・職業について学び、自らの生き方を考えるキャリア教育を推進します^⑧。

以上を効果的に進めることを土台として、今後、新しい時代を生きる上で必要な資質・能力を確実に育むため、学習指導要領の改訂を見据え、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学び学習をさらに充実させるなど、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取り組みを進めます^⑨。

主要事業の状況

※各項目の事業費計は、人件費を含む

①	小中一貫教育推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	42,033
概 要		実 績			
	<p>○学力向上の取り組み</p> <p>◆全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取り組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。また、全国学力・学習状況調査実施後すぐに、教員が問題分析・自校採点及び分析を行い、学校全体として課題及び個々の課題にも正対した取り組みを行うとともに、教科会・学年会における授業研究の推進を図る。また、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自学自習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努める。</p> <p>○体力向上の取り組み</p> <p>◆各小中学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施し、その結果に基づいて体力向上推進計画を作成・実践するとともに、大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを推進する。</p>		<p>○学力向上の取り組み</p> <p>◆全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置するとともに、学力向上委員会や教科会、学年会など校内組織体制の充実を図りながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取り組みを推進した。研究指定校や学力向上担当者研修において、学識経験者による講義、指導助言によって、教員の授業力向上を図った。また、全国学力・学習状況調査について、問題分析・自校採点及び調査結果の比較・分析を行い、分析結果をもとに教科会・学年会において授業研究の推進を図った。また、教職員の意識を高めるとともに、保護者に学力状況をわかりやすく公表することで家庭と連携した学習習慣の確立に努めた。</p> <p>○体力向上の取り組み</p> <p>◆各小中学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施した。その結果に基づいて体力向上推進計画を作成・実践した。また、体力テストについて大阪体育大学と連携して結果分析を行い、市としての課題や成果を踏まえ、今後の体力向上に向けた取組について、体力向上担当者会において研修を実施するとともに、体力向上推進モデル校から発信を行った。</p>		

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率 (目標値の根拠) 全国平均以上 ※上記の指標に、H29年度より変更	実績値 (%)			[小学校] 国語A : 73.00 国語B : 56.00 算数A : 79.00 算数B : 46.00 [中学校] 国語A : 78.00 国語B : 73.00 数学A : 67.00 数学B : 50.00	[小学校] 国語A : 69.00 国語B : 53.00 算数A : 64.00 算数B : 52.00 [中学校] 国語A : 77.00 国語B : 62.00 数学A : 67.00 数学B : 49.00
	目標値 (%)			[小学校] 国語A : 74.80 国語B : 57.50 算数A : 78.60 算数B : 45.90 [中学校] 国語A : 77.40 国語B : 72.20 数学A : 64.60 数学B : 48.10	[小学校] 国語A : 70.70 国語B : 54.70 算数A : 63.50 算数B : 51.50 [中学校] 国語A : 76.10 国語B : 61.20 数学A : 66.10 数学B : 46.90
	達成割合 (%)			[小学校] 国語A : 97.60 国語B : 97.40 算数A : 100.50 算数B : 100.20 [中学校] 国語A : 100.80 国語B : 101.10 数学A : 103.70 数学B : 104.00	[小学校] 国語A : 97.60 国語B : 96.89 算数A : 100.79 算数B : 100.97 [中学校] 国語A : 101.18 国語B : 101.31 数学A : 101.36 数学B : 104.48
関連計画	第5次総合計画 市長公約 実行計画 関連計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち 平成28年度市政運営方針 平成30年度当初実行計画 ー	評価	概ね達成	

②	学校園活性化事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	40,456
	概要	実績			
	◆全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校(園)内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、菊咲かそう体験事業や、小学生陸上競技大会、小学生駅伝競走大会、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。	◆全学校園において、教育課題の解決や教職員の資質向上に向けて、教育活動の活性化、公開授業の実施、校内・園内研修の充実等の取り組みを行った。 また、全学校園で菊咲かそう体験事業を取り組むとともに、教育委員会主催事業として、10月に小学生陸上競技大会、11月に小学生駅伝競走大会を実施。 小学校合同音楽会については、地震の影響で会場が使用できなくなったため、各小学校において参観日などに合わせ開催した。 (平成31年3月末日現在) ・外部講師を招聘して実施した校園内研修の回数 566回			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童・生徒の肯定的な回答の割合 (目標値の根拠) 全国平均以上 ※上記の指標に、H30年度より変更	実績値 (%)				小：79.00 中：83.30	
	目標値 (%)				全国平均 小：77.70 中：76.30	
	達成割合 (%)				小：101.67 中：105.24	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	教職員課	事業費計(千円)	245,695	
概要		実績				
◆府内の公立小学校では、小学校第1学年及び第2学年で、1学級35人以下の少人数学級編制が実施されているが、本市では、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第4学年まで実施するため、学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置する。また、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を平成30年度から実施する。		◆府内の公立小学校では、小学校第1学年及び第2学年で、1学級35人以下の少人数学級編制が実施されているが、本市では、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第4学年まで実施するため、学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置した。また、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を平成30年度から実施した。				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
①基礎学力のたしかめテストにおいて到達基準に達した人数の割合：対前年度比向上 ②学年末テストにおける全国調査の過去問題を活用した「課題に正対した問題」の平均正答率 (目標の根拠) ①対前年度比向上 ②対前回比向上 ※上記の指標に、H30年度より変更 H29年度実績値については、H30年度の目標値とするため、記載している	実績値 (%)		①86.00 ②44.50		①86.6 ②48.5	
	目標値 (%)				①86.0 ②44.5	
	達成割合 (%)				①100.69 ②108.99	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	平成30年度市政運営方針				
	実行計画	平成30年度当初実行計画				
	関連計画	—				

④	学校 I C T 機器等整備業務		担当課	教育政策課	事業費計 (千円)	181,300
概 要			実 績			
<p>◆全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行う。</p> <p>◆ウイルス対策ソフトやフィルタリングソフトを適正に更新し、情報セキュリティの確保を図る。</p> <p>◆平成 31 年度に更新を予定している授業用コンピュータについて、仕様の検討及び作成を行う。</p>			<p>◆平成 30 年 4 月から、新たに中学校 1 校にタブレット型コンピュータ 40 台を導入した。</p> <p>◆タブレット型パソコンを導入した学校へ、無線 LAN 機器の整備を行った。</p> <p>◆昨年度に引き続き、教員の授業における ICT 活用を推進する ICT 支援員の配置やアプリケーションの整備を行った。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
授業用コンピュータ 1 台あたりの児童・生徒数 (目標値の根拠) 実行計画に基づく平成 30 年度目標値			実績値 (人/台)	11.6	9.1	8.5
			目標値 (人/台)	11.6	9.1	9.1
			達成割合 (%)	100.00	100.00	106.59
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 29 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑤	多文化共生教育研究事業		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	980
概 要			実 績			
<p>◆学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会において研究事業に取り組む。</p>			<p>◆本市立学校園における在日外国人教育・国際理解教育において、講演会・学習会等、様々な研究を通しての推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究委員会（講演会・学習会）（年 6 回） ・サマースクール（7 月枚方市立樟葉北小学校にて実施） ・北河内多言語進路ガイダンス（10 月北河内各市在日外国人教育研究協議会との共催） ・多文化冬の集い（2 月枚方市立樟葉北小学校にて実施） ・研究推進活動（機関紙、集録発行） 			
実績値及び目標の説明			年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
年 6 回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数 (目標値の根拠) 前年度実績			実績値 (人)	345	316	338
			目標値 (人)	305	345	316
			達成割合 (%)	113.11	91.59	106.96
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

⑥	英語教育推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	112,272	
概要		実績				
<p>◆全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に英語が堪能な日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校に英語専科教員を新たに配置するとともに、日本人英語教育指導助手（JTE）を拡充し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。</p> <p>英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活用する。</p> <p>関西外国語大学と連携し、留学生との交流等英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため「枚方英語村」を実施する。</p>		<p>◆全小中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図った。また、小学校4校に英語専科教員を配置し、専科教員による外国語活動の公開授業を実施した。またJTEを拡充し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図った。</p> <p>関西外国語大学と連携し、10月20日と1月26日に「枚方英語村」を開催し、のべ107人の小中学生が参加した。</p> <p>10月29日～10月31日に、枚方市立中学校に在籍する第2学年全生徒を対象に英語外部検定試験を実施し、結果をもとに、授業改善、生徒の自主学習習慣や意欲を高める取り組みを実施した。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童（小学校第3学年～第6学年）及び生徒（中学校第1学年～第3学年）の割合（目標値の根拠） 児童の満足度90%以上 生徒の満足度85%以上		実績値 (%)	小：91.8 中：80.7	小：90.8 中：81.3	小：86.2 中：83.6	
		目標値 (%)	小：90.0 中：85.0	小：90.0 中：85.0	小：90.0 中：85.0	
		達成割合 (%)	小：102.0 中：94.9	小：100.9 中：95.6	小：95.8 中：98.3	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成30年度市政運営方針				
	実行計画	平成30年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑦	読書活動推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	137,538	
概要		実績				
<p>◆児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。</p> <p>市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進する。また、中央図書館と連携して全中学校が参加する「ビブリオバトル」を実施する。</p>		<p>◆児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に学校司書を配置し、学校司書と司書教諭が連携して、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等、授業における学校図書館の活用を推進した。</p> <p>また、市立図書館と連携して学校図書館の環境整備を行った。</p> <p>市立中央図書館主催の「中学生のビブリオバトル」を平成31年3月17日に実施した。参加生徒の校数・人数は、17校・47名。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合（目標値の根拠） 対前年度5ポイント向上		実績値 (%)	小：58.40 中：43.90	小：60.50 中：46.80	小：59.90 中：47.30	
		目標値 (%)	小：63.50 中：49.70	小：63.30 中：51.40	小：66.30 中：51.70	
		達成割合 (%)	小：91.97 中：88.33	小：95.58 中：91.05	小：90.35 中：91.49	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成28・29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成26年度当初実行計画				
	関連計画	第2次枚方市子ども読書活動推進計画				

⑧	進路指導等事務		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	5,087
概要			実績			
◆進学意欲を有しながら、経済的な理由により修学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、家庭状況に見合った相談や個々の課題等に対応したサポートを行い、積極的に自己の進路を考え、将来に展望が持てるよう支援するため、進路選択支援事業を実施する。なお、事業は、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を行う。			◆生徒・保護者に対して、進路に関する適切な情報提供を行った。また、奨学金に関する説明会を平成30年6月8日に開催した。 ◆進路選択相談の件数が前年度から減少した要因として、以前から私立高校の授業料無償化の周知を図ってきたが、情報の周知に対する効果がみられ、従来多かった「奨学金に関する相談」の件数が大幅に減少したことからと認識している。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
進路選択支援相談員が、奨励金等に関する相談を受けた回数 (目標値の根拠) 前年度実績の1割増			実績値 (件)	52	52	31
			目標値 (件)	56	57	57
			達成割合 (%)	92.86	91.23	54.38
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	未達成だが その方向に 進んでいる		
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

⑨	放課後自習教室事業		担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	59,421
概要			実績			
◆児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上を図るため、全小・中学校の放課後自習教室を開室し、より多くの児童・生徒の学習機会の充実を図る。また、全小・中学校に配備しているパソコンの自学自習力支援システムを、朝学習、授業、放課後学習、家庭学習において活用して、日々の学びの連続性の確立と家庭学習の充実に取り組み、児童・生徒の自ら学ぼうとする力の育成と基礎・基本の定着を図る。			◆児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上を図るため、各小・中学校において放課後自習教室を開室し、児童・生徒の学習機会の充実を図った。また、全小・中学校に配備している児童・生徒一人ひとりの理解度に応じてプリント学習ができる自学自習力支援システムを、放課後自習教室をはじめ、授業や朝学習・家庭学習で活用することで、児童・生徒の自ら学ぼうとする力の育成と基礎・基本の定着を図った。 (平成30年度) ・放課後自習教室の開室： 小学校3,721回、中学校1,680回 ・放課後自習教室の参加人数： 小学校91,774人、中学校11,964人			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
放課後自習教室の実施回数 (目標値の根拠) 年間80日開室(64校)			実績値 (回)	4,869	5,699	5,401
			目標値 (回)	4,480	5,120	5,120
			達成割合 (%)	108.68	111.31	105.49
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	達成		
	市長公約	平成28年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
⑧ 進路指導等事務	以前から私立高校の授業料無償化の周知を図ってきたが、情報の周知に対する効果がみられ、従来多かった「奨学金に関する相談」の件数が大幅に減少したことによる。	今後も生徒・保護者に対して、進路に関する適切な情報を提供する。

基本方策1に対する評価

確かな学びと自立を育む教育の充実としては、小・中学校において授業の取組に関する事業だけでなく、放課後や進路指導などのさまざまな事業に取り組んでおり、おおむね順調に推進できていると考える。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

①小中一貫教育推進事業については、校内の学力向上推進体制を整えたことによる効果が出始めており、引き続き各校の課題に正対した取り組みの継続に期待する。

③枚方市少人数学級充実事業については、成果指標が客観的数値に変更され事業の成果がわかりやすくなった。

⑥英語教育推進事業については、令和2年度の小学校英語科の本格実施に向け、成果が引き継がれるよう期待する。

⑧進路指導等事務については、高校授業料の実質無償化など進路指導に関わる制度が変化していることを踏まえ、これまでの奨学金等に関する相談だけでなく、就職が困難な若年層に対する進路相談・指導など新たな活動を検討していただきたい。

基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

道徳教育・人権教育などを通じて、規範意識を培い公共の精神と自らを律する力を育むとともに、他の生命や平和を大切にする心を養い、子どもたちが豊かな人間性を身につけるための教育を充実させます^{①②③④⑤}。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加など、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進^⑥や、食物アレルギーへの対応など安全で安心な学校給食を提供し^⑦、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します^{①②③④⑤}。

さらに、心身を鍛錬し、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会^⑧や、自然を生かした野外活動など、体験活動を拡充させる^⑨とともに、部活動の充実を進めます^⑩。このため、外部指導者など多様な社会人の活用を図ります^⑪。

主要事業の状況

①	学校園健康管理事業		担当課	学務課	事業費計 (千円)	135,507
概要			実績			
◆学校内科医、学校歯科医、学校眼科医、学校耳鼻科医、学校薬剤師、腎臓検診医、歯科衛生士による幼稚園7園、小学校45校、中学校19校で内科、歯科検診などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施している。			◆全学校園を対象に内科・歯科・眼科検診を、小学校第1・3学年及び中学校第1学年を対象に耳鼻科検診を学校医で行った。学校薬剤師による空気、飲料水、プール水質、照度の検査等行なった。また、歯科衛生士によるブラッシング指導を全幼児、小学校では各小学校で学年を決めて行なっている。健康相談は、専門的な観点な立場から学校及び児童・生徒の支援を行なっている。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
学校内科医1人あたりの幼児児童生徒数 (目標値の根拠) 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出		実績値 (人)	319	314	314	
		目標値 (人)	330	330	330	
		達成割合 (%)	103.33	104.85	104.85	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価		達成	
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

②	健康診断事業		担当課	学務課	事業費計 (千円)	40,436
概要			実績			
◆全学校園において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。			◆結核検診(全児童・生徒)、尿検査(全幼児・児童・生徒)及び心臓検診(小学校第1学年・中学校第1学年)耳鼻科検診(小学校第1・3学年、中学校第1学年)、歯科検診(全幼児・児童・生徒)、脊柱側弯(モアレ)検診(小学校第5学年・中学校第1学年)を行なった。 総受信者数：31,780人 総対象者数：32,119人			

実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
健康診断受診率 (目標値の根拠) 対象者全員	実績値 (%)			99.20	99.15	98.94
	目標値 (%)			100.00	100.00	100.00
	達成割合 (%)			99.20	99.15	98.94
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

③	人権教育推進研究事業		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	2,346
概要			実績			
◆学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校園長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業に取り組む。			本市立学校園における人権教育について、講演会や実践報告会、研究大会等、様々な研究を通して推進を図った。 ・実践報告会(年2回) ・北河内地区人権教育研究学習会及び研究大会(年4回) ・大阪府人権教育研究協議会集団づくりフォーラム(7月) ・大阪府人権教育夏季研究大会(8月) ・大阪府人権教育研究南河内大会(10月) ・枚方市人権教育研究協議会講演会(10月) ・全国人権・同和教育研究大会(11月) ・大阪府人権教育人権・部落問題学習研究集会(1月)			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数 (目標値の根拠) 前年度実績	実績値 (人)			339	534	562
	目標値 (人)			292	339	534
	達成割合 (%)			116.10	157.52	105.24
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

④	小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-------------------------	-----	-------

⑤	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-----------------------	-----	-------

⑥	学校給食における地元農産物利用促進事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円)	795
概要			実績			
◆安全・安心でおいしい学校給食の提供のため、小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図り、第3次枚方市食育推進計画の目標である「米・野菜類全体購入量に対する枚方産及び府内産購入量の割合を(重量ベース)38%」の達成に向け、取り組みを進める。			◆野菜類については、枚方産・府内産合わせて24品目で30.4トン、うち枚方産は19品目19.3トン(えんどう豆、玉葱、さつまいも、大根、キャベツ、白菜、じゃがいも、ほうれん草、チンゲンサイ、九条ねぎ、なす、小松菜、冬瓜、人参、白葱、金時人参、れんこん、かぼちゃ、里芋、黒米)を使用した。また、米については、北河内一帯で栽培・収穫されている大阪産「ヒノヒカリ」を196.3トン使用した。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
地元農産物の割合 (目標値の根拠) 第3次枚方市食育推進計画の目標			実績値 (%)	33.10	32.50	32.30
			目標値 (%)	30.00	30.00	38.00
			達成割合 (%)	110.33	108.33	85.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	第3次枚方市食育推進計画				

⑦	食物アレルギー対応推進事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円)	2,385
概要			実績			
◆食物アレルギー対応の適切かつ確かな取り組みを進める。 ◆学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、より一層の安全を確保する。 ◆中学校給食において、7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を毎日行う。			◆中学校給食において、毎日7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を行った。小学校給食において、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた統一の対応を実施した。 ◆ヒヤリハット・事故報告の蓄積を行った。また、マニュアル様式等の改訂を行い給食担当教職員等への研修を実施した。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)件数 (目標値の根拠) アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)がないこと。 ※上記の指標に、H29年度より変更			実績値 (%)		0	0
			目標値 (%)		0	0
			達成割合 (%)		100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑧	文化財啓発普及事業	担当課	文化財課	事業費計 (千円)	16,944	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替 ◆文化財防火デー（市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施） ◆歴史講座、歴史ウォーク（市内文化財めぐり等） ◆枚方・百済フェスティバル（毎年5月に開催する古代の枚方と朝鮮半島の交流の歴史を伝えるイベント） ◆文化財の展示（輝きプラザきらら2階展示ルーム等で、発掘調査の出土遺物等を展示） ◆発掘調査現地説明会 ◆刊行物（文化財関係図書等）の発行など ◆出前講座 		<ul style="list-style-type: none"> ◆説明板については、磯島の糸桜、春日神社（津田）の建替え、白雉塚古墳の天井石、招提寺内町敬応寺の修繕のほか、文化財連続講座（年4回）を開催し、延べ436人の参加があった。11月に親子を対象とした市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊-枚方宿を歩こう-」を開催したほか、生涯学習広域講座「聞く・見る・歩く 北河内パート19」や文化財防火デーに伴う消防訓練を御殿山神社で行うなど、枚方市内の文化財について市内外に啓発・普及を行った。 ◆文化財連続講座、生涯学習広域講座等において、参加者の利便性、参加者の新たな年齢層の開拓、受付事務の軽減を目的に、インターネットからの申し込みを開始した。 ◆（公財）枚方市文化財研究調査会の解散に伴う事業統合により、考古学講座、ジュニア文化財学級を引き継ぎ、また「ひらかた文化財だより」を2ページから4ページに増やし、内容の充実を図った。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
歴史関連イベントの参加者数の累計 （目標値の根拠） 過去の実績をもとに年間1,800人と設定。イベントの開催状況により1年単位の実績数にばらつきがあるため累積数を目標値とする。		実績値 (人)	13,628	15,342	16,268	
		目標値 (人)	12,600	14,400	16,200	
		達成割合 (%)	108.16	106.54	100.42	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

⑨	野外活動センター利用促進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円)	15,617	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ（日帰り・宿泊）を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。（平成26年度は試行。平成27年度から本格実施。） 		<ul style="list-style-type: none"> ◆利用促進のために実施している「学校キャンプ支援事業」は、小学校22校の利用があった。また、中学校についても4校の利用があった。事業の1つとして、送迎用のバス借上げを行った。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
市内小学校のキャンプ利用件数 （目標値の根拠） 昨年度実績又は直近3年の平均のどちらが多い数		実績値 (件)	27	25	22	
		目標値 (件)	45	27	25	
		達成割合 (%)	60.00	92.59	88.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑩	部活動指導協力者派遣事業		担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	17,796
概要			実績			
◆部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。			◆各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣し、部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の負担軽減を図り、生徒と関わる時間や授業研究の時間を確保するよう努めた。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
中学校部活動指導協力者の派遣回数 (目標値の根拠) 派遣回数の上限(1校あたり370回)			実績値 (回)	5,677	5,873	5,553
			目標値 (回)	7,600	7,030	7,030
			達成割合 (%)	74.70	83.54	78.99
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	未達成だが その方向に 進んでいる
	市長公約	平成28・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑪	学校支援社会人等指導者活用事業		担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	8,362
概要			実績			
◆各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校の教育活動を活性化を図る。			◆学校園51校(園)において、和楽器指導やキャリア教育における職業講話など学校支援社会人等指導者の活用を図り、学校の教育活動の活性化を図った。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
学校支援社会人等指導者を活用した回数 (目標値の根拠) 活用回数の上限(1校園あたり約22回)			実績値 (回)	1,533	1,603	1,489
			目標値 (回)	1,680	1,640	1,640
			達成割合 (%)	91.25	97.74	90.79
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

未達成事業への対応

	事業名	未達成理由	今後の方向性
⑩	部活動指導協力者派遣事業	地震及び台風等の影響による部活動数の減少	顧問教員の負担軽減し、生徒と関わる時間や授業研究の時間確保に向けて、引き続き、部活動指導協力者の確保に努めていく。

基本方策2に対する評価

豊かな心と健やかな体を育む教育の充実としては、子どもの健康に関する事業や人権に対する意識向上のための研修など、各事業の取り組みとして、指標の達成状況からも、着実に推進できていると考える。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

③人権教育推進事業については、研修会への参加者の増加が続くなどそのニーズが高まっていると考えられる。

⑦食物アレルギー対応推進事業については、日々の適切な対応に加え、事故防止の地道な取り組みが、子どもの安心安全に繋がっている。また、注意喚起などを通じて、今後ともアレルギーの届出のない生徒が突発的に発症する場合も想定して万全を期していただきたい。

⑧文化財啓発普及事業については、講座等による啓発普及だけでなく、他の手法を用いた取り組みにより、文化財の普及を進めていただきたい。

⑨野外活動センター利用促進事業については、特徴的なイベントをホームページ等でさらなる情報発信を行うことで、野外活動センターの利用を促していただきたい。

基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力など、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

平成26年度からの中核市移行に伴い、大阪府より教職員研修の権限が委譲されました。そのため、『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむをテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施^①し、「経験の浅い教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「小中一貫教育における学力向上に向けた授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り^①、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します^①。

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人による研究授業等により、授業改善につなげること^{②③}で、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実します^①。

さらに、学習指導要領の改訂を見据え、授業改善や組織運営の改善にかかる「アクティブ・ラーニング」や「カリキュラム・マネジメント」など新しい教育課題に向けた研修にも取り組みます^①。

主要事業の状況

①	枚方市教職員育成事業	担当課	教育研修課	事業費計 (千円)	104,668	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。 ◆『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむことを目標に、「経験の浅い教職員及びミドルリーダーの育成」「学力向上に向けた授業づくり・授業改善の推進」「校内研究支援」（授業研究・授業改善・学校支援）の3点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。 ◆新学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー（学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等）が学校園を訪問し、経験の浅い教員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。 ◆枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「枚方市教育フォーラム」を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆平成30年度は、平成29年度に引き続き、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、①経験の浅い教職員及びミドルリーダーの育成 ②学力向上に向けた授業づくり・授業改善の推進 ③「校内研究支援」（授業研究・授業改善・学校支援）を重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や10年経験者研修をはじめ、教職員の経験・職務に応じた基本研修及び教育課題や教科等の専門性を高める専門研修を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図っている。 <p>平成30年度は、基本研修を164回、専門研修を92回、計256回実施した。</p> <p>また、教育推進プランナーを中心に、経験の浅い教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等に1,293回を超える学校訪問を実施した。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
研修を受講した教職員が、その研修内容について、各学校園において会議等で効果的な伝達をしたり、授業等で効果的な実践をしたりした割合 (目標値の根拠) 研修の実質的効果		実績値 (%)	98.29	90.04	95.10	
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
		達成割合 (%)	98.29	90.04	95.10	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

②	授業の達人養成・教科研究事業		担当課	教育研修課	事業費計 (千円)	6,685
概要			実績			
<p>◆児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」と、小中一貫教育における各中学校ブロック教科等部会のリーダーを対象とした「教科研究講座」の2つの講座で実施。</p> <p>○授業の達人養成講座（※段階的に『達人』に認定するシステムを構築する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。 ・教材研究、学習指導案の検討を行い、年間2回の研究授業（公開授業）を実施。 ・先進地域、先進校への視察を実施。 <p>○教科研究講座【10部会】</p> <p>国語（小中）、社会（小中）、数学（中）・算数（小）、理科（小中）・生活（小）、英語（中）・外国語活動（小）、音楽（小中）、美術（中）・図画工作（小）、技術/家庭（中）・家庭（小）、保健体育（中）・体育（小）、道徳（小中）</p> <p>◆平成29年度より、授業の達人に特化した事業とし、教科研究講座は、専門研修の枠内での実施とした。</p>			<p>◆豊かな人間性と高い専門性を有する優れた教員（「授業の達人」）を養成することを目標に、授業の達人養成講座を実施した。</p> <p>平成30年度は、2年間の継続研修の初年度分として実施し、合計12回の研修を行った。</p> <p>研修では、専門的な知識を有する外部講師を招いての講義・演習や研究授業・実践報告、教材研究及び指導法の研究、先進地域の視察等を行い、新学習指導要領についての理解を深め、受講者相互の交流を通して、今求められている授業像を明確にし、自身の実践に生かした。</p> <p>また、受講者の授業を指導主事が参観し指導することで、実践的な指導力を高めるとともに、研修での学びを活かす意識をさらに高めた。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
受講者の出席率 (目標値の根拠) 「授業の達人養成講座」の受講者の出席率			実績値 (%)		88.72	82.90
			目標値 (%)		100.00	100.00
			達成割合 (%)		88.72	82.90
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	概ね達成		
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

③	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-----------------------	-----	-------

基本方策3に対する評価

新しい学習指導要領が小学校では令和2年度、中学校では令和3年度から全面実施されることを踏まえ、それらの学習内容・指導方法に対応できる教職員の育成をめざして、充実した研修が実施されていると考える。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

①枚方市教職員育成事業については、新学習指導要領の完全実施や教職員の世代交代の加速化等大きな節目を迎えていることから、教育公務員特例法にある教員育成指標を参考にし、引き続き効果的な研修をめざして、教職員の育成に努めていただきたい。

基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害のある子どもをはじめすべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させる^{①②}とともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます^{①②}。

また、平成 28 年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進める^{①②}とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組んでいきます^③。

さらに、支援教育コーディネーターを中心として配慮を要する子どもの支援を行う^{①②}とともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます^{①②}。

主要事業の状況

①	支援教育推進事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	200,049	
概 要		実 績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。 ◆児童生徒支援室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。 ◆小・中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動時間を支援するために、非常勤講師を加配する。 ◆肢体不自由児介助員を配置し、小・中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行う。 ◆学校看護師を配置し、医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒の学校園における日常生活を支援する。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援のため、桜丘小学校、蹠陀西小学校、杉中学校、蹠陀中学校の4校に専門家を派遣し指導・助言を行った。 ◆児童生徒支援室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施した。 ◆小・中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動時間を支援するために、非常勤講師を全小中学校に加配した。 ◆肢体不自由児介助員 22 人を配置し、小・中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行った。 ◆学校看護師 23 人を配置し、医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒の学校園における日常生活を支援した。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施した。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行った。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行った。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	
支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数 (目標値の根拠) 小・中学校専門家、幼稚園巡回相談、理学療法士等は予算範囲。リーディングチームは前年度実績の1割増。		実績値 (回)	406	439	453	
		目標値 (回)	412	412	443	
		達成割合 (%)	98.54	106.55	102.26	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	6,170
概要			実績			
◆小・中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。 ◆市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。			◆毎日利用の児童・生徒 12 名、雨天時利用の児童・生徒 24 名の通学費用（通学タクシー）に対して、支援金を交付した。			
実績値及び目標の説明			年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
通学タクシーを利用した児童・生徒の人数 (目標値の根拠) 年度当初の通学タクシー利用申請人数			実績値 (人)	26	34	36
			目標値 (人)	26	28	33
			達成割合 (%)	100.00	121.43	109.09
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

③	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策 3 に記載	担当課	教育指導課
---	---------------------------	-----	-------

基本方策 4 に対する評価

障がいのある子どもをはじめ、全ての子どもたちに充実した教育環境の提供をめざして、支援教育に関する研修や、学校看護師や肢体不自由児助員の配置など、学習環境の整備・充実が図られており、他の自治体のモデルとなる充実した事業を実施することができている。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

①支援教育推進事業については、支援学級に在籍する子どもの状況に応じた支援体制の充実が図られている。支援学級数は年々増加傾向にある中、指導者の人材確保が課題となるが、引き続き子どものニーズに対応して、充実した体制の維持に努めていただきたい。

基本方策5 幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加など、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、さまざまな体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取り組みを進める必要があります。

幼児教育の目的は「義務教育及びその後の教育の基礎を培う」ことであり、幼児期（幼稚園・保育所・認定こども園）の教育と児童期（小学校）の教育を円滑に接続・連携し、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに学級集団に応じた適切な指導を行います^{①②}。

また、保護者の心身のリフレッシュや短時間就労などのニーズへ対応した預かり保育の実施^①や、地域の未就園児も含め、親子での遊びの場や保護者交流の場の提供、子育て相談の取り組みの推進^①など、保護者支援を充実させます。

主要事業の状況

①	幼稚園保護者支援充実事業		担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	14,810
概要			実績			
◆幼稚園で一時預かりを実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、幼稚園を、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施し、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図る。			◆幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図るため、預かり保育を実施した。 (平成31年3月末日現在 参加人数：延べ11,662人) 幼稚園において、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施した。 (平成31年3月末日現在 実施回数 延べ506回)			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
保護者のニーズ（申し込み）に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率 (目標値の根拠) ニーズ（申し込み）に対する実施率100%	実績値 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
	目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
	達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

②	市立幼稚園における3歳児保育実施事業		担当課	教育政策課	事業費計 (千円)	21,773
概 要			実 績			
<p>◆平成30年度から全面実施の「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において、就学前の子ども（3～5歳児）に対する共通の教育目標が示され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として小学校教育でもこの姿を踏まえた教育課程の工夫が求められている。このように幼児教育が重要とされる中、教育内容の充実を図るため、市立幼稚園6園（枚方・高陵・蹉跎・田口山）において平成31年度から新たに3歳児保育を実施する。</p> <p>また、現在、1・2歳児の小規模保育事業に取り組んでいる4園（枚方・高陵・蹉跎・田口山）では3～5歳児の教育時間の前後に預かり保育を実施し、小規模保育事業と同様に開園（7時～19時）することで、在園児に対して切れ目のない教育・保育を提供する「枚方版子ども園」として開設する。</p>			<p>◆「就学前の教育と保育施設に係るひらかたプラン（案）」の基本的な考え方に基づき、平成31年度に3歳児保育の実施および預かり保育時間を拡充するにあたり、関係条例等の改正、幼稚園施設の改修や必要な備品等の購入をはじめ、任期付講師や臨時職員の雇用など職員体制の整備を行った。</p> <p>◆平成31年度の事業実施にあたり、園児定数、預かり保育内容などを定めた園児募集要項等を作成し、応募受付、入園決定を行った。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
3歳児定員に対する入園児数 (目標値の根拠) 平成31年度3歳児定員			実績値 (人)			139
			目標値 (人)			160
			達成割合 (%)			86.88
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成30年度9月補正実行計画				
	関連計画	—				

基本方策5に対する評価

3歳児保育を実施するなど幼児教育の充実に向けて保護者のニーズに応じた事業の推進ができて

いる。
潜在的な待機児童について、教育委員会においてもできる限り状況を把握し、より市民のニーズにあった幼児教育の充実を図っていただきたい。

基本方策6 地域とともにある学校づくりの推進

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「地域とともにある学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティスクールなど学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組みます^①。

主要事業の状況

①	コミュニティ・スクール推進事業		担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	429
概要			実績			
◆保護者や地域住民等から構成され、学校運営や運営への必要な支援に関して協議する枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校に順次に設置する。また、研究会等を開催し、枚方におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取り組みの発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。			◆枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校5校（枚方第二・香里・氷室・山之上・川越小）において設置した。各コミュニティ・スクールにおいて、校長が作成する学校運営の基本方針が承認されるとともに、学校と家庭、地域が連携・協働し、子どもたちの健やかな成長を支えていく学校づくりを進めていくことが確認された。また、各委員が学校への理解を深めるため、学校行事への参加や授業の参観等を行った。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対して強い肯定的回答の割合（目標値の根拠） 強い肯定的回答の割合 100%		実績値 (%)			100.00	
		目標値 (%)			100.00	
		達成割合 (%)			100.00	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 30 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

基本方策6 に対する評価

事業対象校においては、学校の様々な課題を保護者や地域住民とともに共有でき、協力して課題解決に取り組めたことは、コミュニティ・スクールとした効果だと思われる。市内の全小学校をコミュニティ・スクールにするにあたって順調に事業が実施されている。

今後も、学校運営協議会の機能を生かし、地域とともにある学校づくりをめざして、コミュニティ・スクール化を推進していただきたい。

基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境などさまざまな理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりについては、オートロックや機械警備などによる学校施設内の安全確保^①や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携、防犯カメラなどによる通学路の安全対策^②の強化、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用する^②とともに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します^②。

安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりについては、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、相談体制を充実させる^{③④⑤}とともに、学校においては、生徒指導体制の充実を図り^⑥、いじめの未然防止や早期発見^⑦、不登校児童・生徒への支援に取り組みます^{⑧⑨}。

また、貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援や、児童虐待について、中央子ども家庭センターや子ども総合相談センターなど関係機関との連携を強化します^{⑦⑩}。

主要事業の状況

①	小学校安全監視事業	担当課	学校規模調整課	事業費計 (千円)	32,169	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し安全監視を実施する。 ◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆監視カメラ及び校門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホンの活用に加え、来校者の多い午前中（8時30分から12時30分まで）及び児童の下校時間（原則として14時30分から16時30分まで）に、地域・保護者の協力を得ての安全監視ボランティアや、シルバー人材センターへ委託しての安全監視員の配置を行うとともに、地域ぐるみ、まちぐるみで子どもの安全を確保しようという意識を高めていくため、市のホームページやFMひらかたなどを利用して、事業についての広報・PRを行った。 ◆各小学校の安全監視日誌にて、安全監視ボランティア、安全監視員の活動中に安全・安心な学習環境が確保されていることを確認した。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
児童在校中の小学校への不審者の侵入件数 (目標値の根拠) 全小学校の侵入事案なし		実績値 (件)	0	0	0	
		目標値 (件)	0	0	0	
		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

②	通学路等安全対策事業		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	33,492
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置し、児童の登下校の安全を図っている。関係機関と連携し、児童の通学環境の改善に取り組み、交通専従員、交通指導員の効率的・効果的な配置を行う。 ◆関係機関と連携した通学路の合同点検を実施する。 ◆学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。 ◆学校園においては、一般の安全指導の他、交通安全教室等を実施する。 ◆小学校において、胸骨圧迫と AED の取り扱いに特化した救命講習を実施する。 ◆小学校において防災キャンプを実施する。 ◆学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆小学校 18 校 (30 箇所) に 57 人の交通専従員・交通指導員を配置し、児童の登下校の安全確保を図った。 ◆小学校を通じて報告のあった危険箇所について児童生徒支援室で集約し、「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、教育委員会、警察署等で構成する通学路安全対策連絡会議で協議を進めている。9月に菅原東小学校区、氷室小学校区、1月に山之上小学校区、2月に五常小学校区にて合同点検を実施した。 ◆市として統一した地震発生の対応及び大雨警報等発表時の対応を策定し、各学校園ではその内容も含めた危機管理マニュアルを見直した。また、内容がより充実したものになり、実践的な避難訓練を実施した。 ◆各学校において、交通安全教室及び救命講習が適切に実施された。 ◆防災キャンプについては、5月に蹉跎小学校、9月に津田南小学校、1月に樟葉北小学校で実施した。 ◆各学校園において、メール配信システムを活用し、緊急の情報等を保護者に提供した。 			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
交通専従員、交通指導員の配置人数 (信号機の設置等で安全確保できたところから、交通指導員等を順次廃止する。) (実績値) 配置人数 (目標値) 前年度実績 (達成割合) 配置人数に対する削減割合			実績値 (人)	55	58	57
			目標値 (人)	56	55	58
			達成割合 (%)	101.79	94.55	101.72
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	達成		
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

③	「心の教室相談員」配置事業		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	8,679
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆全小学校に、「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行う。 ◆相談員を、児童数に応じて、1校につき年間 20 回～35 回派遣する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆全 45 小学校に 25 人の相談員を配置し、児童・保護者・教職員からの相談に応じた。事案によっては、中学校配置のスクールカウンセラーと連携して対応にあたった。 ◆心の教室相談員連絡会を年間 2 回実施した。 			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
心の教室相談員の年間総配置回数 (目標値の根拠) 小学校 1 校あたりの平均配置回数を 31 回とする。 ※ 45 (校) × 31 (回)			実績値 (回)	1,372	1,360	1,373
			目標値 (回)	1,395	1,395	1,395
			達成割合 (%)	98.35	97.49	98.42

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	概ね達成
	市長公約	—		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

④	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	1,858	
概要		実績				
<p>○スクールアドバイザーの業務</p> <p>◆事件、事故等緊急を要する事例に対しての派遣を行っている。</p> <p>○スクールアドバイザーとして派遣する者</p> <p>◆臨床心理士等の専門的な知識・経験を有する者の中から、児童生徒支援室が依頼した者</p>		<p>◆平成 30 年度は、12 校（小学校 6 校、中学校 6 校）に、延べ 32 回アドバイザーを派遣した。</p> <p>◆事件・事故に直面した児童・生徒・教職員等の心のケアに当たるとともに、平成 30 年度は、大阪北部地震に対しての心のケアのため、災害対策費から報償金の再配当を受け、緊急支援も行った。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	
スクールアドバイザーを派遣した回数 (目標値の根拠) 前年度実績		実績値 (回)	12	28	32	
		目標値 (回)	6	12	28	
		達成割合 (%)	200.00	233.33	114.29	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑤	教育相談事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	16,467
概要		実績			
<p>○子どもの笑顔守るコール(いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン)</p> <p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。(平日 9:00~17:00)</p> <p>○継続教育相談</p> <p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。(要予約 月~金)</p> <p>○メンタルヘルス相談</p> <p>◆教職員に対するメンタルヘルス相談を行う。(要予約 月・金の午後)</p>		<p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話及び面談による教育相談、また、教職員のメンタルヘルス相談を行うことにより、それぞれが抱える課題等について適切に支援した。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
電話、来館による年間相談延べ件数(子どもの笑顔守るコール+教育文化センター内での継続教育相談+教育文化センター内でのメンタルヘルス相談) (目標値の根拠) 子どもの笑顔守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績		実績値 (件)	1,723	1,902	1,888
		目標値 (件)	1,576	1,723	1,902
		達成割合 (%)	109.33	110.39	99.26

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	概ね達成
	市長公約	—		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

⑥	生徒指導充実事業	担当課	教職員課	事業費計 (千円)	32,526						
概要		実績									
<p>◆生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラー等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。</p> <p>◆生徒指導体制を強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。</p> <p>◆各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル（体罰防止編）を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。</p>		<p>◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、平成 30 年度は中学校 7 校に市費負担任期付教員を 1 人ずつ配置し、1 校には非常勤講師 1 人を配置した。現在、生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ適切に指導を行っている。加えて、年度当初及び夏季休業期間中等に、枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）（体罰防止編）等を用いた教職員研修を実施し、いじめの未然防止と体罰の根絶に努めている。</p> <p>◆加配講師（任期付講師）配置校</p> <table border="1"> <tr> <td>H30 年度</td> <td>第四中・中宮中・楠葉中・桜丘中・蹉跎中・招提北中・長尾西中</td> </tr> <tr> <td>H29 年度</td> <td>第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹉跎中・招提北中</td> </tr> <tr> <td>H28 年度</td> <td>第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹉跎中・招提北中</td> </tr> </table> <p>※上記以外の中学校には府及び市から非常勤講師を配置</p>				H30 年度	第四中・中宮中・楠葉中・桜丘中・蹉跎中・招提北中・長尾西中	H29 年度	第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹉跎中・招提北中	H28 年度	第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹉跎中・招提北中
H30 年度	第四中・中宮中・楠葉中・桜丘中・蹉跎中・招提北中・長尾西中										
H29 年度	第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹉跎中・招提北中										
H28 年度	第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹉跎中・招提北中										
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度						
任期付講師配置校における暴力行為の発生件数 (目標値の根拠) 暴力行為発生件数が前年度より 10%減少 ※H30 年度の発生件数は、暫定値		実績値 (件)	62	57	48						
		目標値 (件)	60	56	51						
		達成割合 (%)	96.80	98.20	105.88						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	達成							
	市長公約	—									
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画									
	関連計画	—									

⑦	いじめ問題対策事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	12,804	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 枚方市の関係部課と外部関係機関に属する者で構成される「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会を年3回開催する。 ◆ 枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。 ◆ 幼児対象人形劇の実施（「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の取組の一つ） ◆ ひらかた学校支援チーム；弁護士、心理・福祉の専門家、校長経験者等で構成する支援チームが学校園を巡回し、幼児・児童・生徒の様子や学校園の状況を確認、助言を行う。 ◆ 「ストップ！いじめ」全小・中学校の新入生の保護者を対象に、いじめ問題に対する啓発冊子として配付。 ◆ 枚方市いじめ防止基本方針の改定及び概要版の作成・配付。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会を5月、10月、1月に開催した。 ◆ 枚方市学校いじめ対策審議会は、定例審議会2回、臨時審議会1回の計3回実施した。 ◆ いじめの未然防止のための幼児対象人形劇は、希望24施設のうち10施設において10月から12月に実施した。 ◆ ひらかた学校支援チームで120回学校園を訪問し、学校における問題解決のための支援を行った。 ◆ 家庭と連携した「いじめ問題」防止の啓発のため、「ストップ！いじめ」を4月、小・中学校の新入生保護者に配付した。 ◆ 枚方市学校いじめ対策審議会からの提言を踏まえ、枚方市いじめ防止基本方針を9月に改定し、学校園に通知した。これに基づいて、引き続き、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けて取り組んでいる。また、枚方市いじめ防止基本方針の改定に伴い、「枚方市いじめ対応マニュアル」を作成した。 ◆ 各学校においては、学期に1回以上、児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。また、生起したいじめ事案は組織的に対処し、解消に向けて取り組んだ。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
認知したいじめの解消率 (目標値の根拠) 年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。 ※H30年度は暫定値		実績値 (%)	97.90	80.20	80.60	
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
		達成割合 (%)	97.90	80.20	80.60	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成28・29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑧	不登校児童・生徒支援事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	12,237
概要		実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 枚方市不登校支援協力員連絡会を開催し情報交換を図る。 ◆ 月1回中学校区ごとに小中学校間の情報交流を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 不登校の兆候が見えた生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めた。不登校生徒に対しては、不登校生徒に対しては、不登校支援協力員により、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援を行った。 ◆ 市内全中学校に不登校支援協力員を配置し、不登校の未然防止に取り組むとともに、不登校生徒の要因や背景に応じた適切な支援を行った。 ◆ 新たな不登校を生まない取組として、生徒指導主事やこども支援コーディネーターと連携して情報共有を図った。 ◆ 枚方市不登校支援協力員連絡会を年間3回実施した。 ◆ 枚方市小・中学校生徒指導連絡会を年間11回開催し、各回において小・中学校間連絡会を実施した。 			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
市内全中学校における不登校出現率(5月1日現在の全中学校在籍人数に対して、不登校の欠席が30日以上合計) (目標値の根拠) 目標値の設定は、公表されている府の公立中学校過去5年の不登校出現率の平均	実績値 (%)		3.38	3.72	4.23	
	目標値 (%)		3.20	3.26	3.36	
	達成割合 (%)		94.38	87.63	74.11	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	未達成だがその方向に進んでいる
	市長公約	平成28年度・平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑨	適応指導教室事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計(千円)	17,103	
概要		実績				
<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆学習活動・体験活動・創作活動等学校復帰を含めた自立のための指導・支援を行う。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆学生指導員が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆馬の世話を通して、不登校状態にある児童・生徒の指導・支援を行う。</p>		<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆主に、心理的要因で不登校状態にある児童・生徒に対し、教育文化センターに設置している適応指導教室「ルポ」で学習支援、グループ活動、カウンセリング、キャンプ、保育体験、福祉体験、馬とのふれあい体験などを通し、支援・指導を行った。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆訪問指導において、保護者の悩みを聴くとともに、生徒の状況に良い変化を見て取ることができた。学生指導員と担当指導主事は、毎週水曜日、10時から2時間程度家庭訪問を実施した。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆「セルフわらしべ」にて、5日間、延べ12名参加。 ①平成30年11月6日(火)・7日(水)・8日(木) ②平成31年2月5日(火)・7日(木) ※6日(水)参加なく、未実施。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
適応指導教室「ルポ」への入室基準を満たし、登室を承認された児童・生徒が、登室した割合 ※平成30年度の適応指導教室「ルポ」児童・生徒数は45人。 (目標値の根拠) 「ルポ」への登室100%	実績値 (%)		89.70	76.10	77.70	
	目標値 (%)		100.00	100.00	100.00	
	達成割合 (%)		89.70	76.10	77.70	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	未達成だがその方向に進んでいる
	市長公約	平成28年度・平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑩	スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 （千円）	15,100	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応 ◆教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法のアドバイス ◆小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進 ◆学校と関係機関等との連携のコーディネート ◆中学校派遣のスクールカウンセラーとの連携 ◆小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築 ◆枚方市教育委員会が開催する研修会、連絡会等への参加 ◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーは、スクールソーシャルワーカーへの指導助言 ◆その他、教育長が認める事項に関すること 		<ul style="list-style-type: none"> ◆社会福祉士の資格を有するより専門性の高いSSWを増員するなど、全体の構成や活動回数の見直しを行った。 ◆4中学校区に社会福祉士の資格を有するSSWを1人ずつ配置し、小学校5校に教員免許を有するSSW（4人）と社会福祉士の資格を有するSSW（1人）を1人ずつ配置した。 ◆社会福祉士の資格を有するSSWを配置または派遣した学校において、校内または拡大ケース会議のファシリテーションや福祉的手法を助言している。この中で、関係機関やSC等とも連携している。 ◆枚方市教育委員会が開催している連絡会等を7回実施した。 ◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーは、全15回、チーフ・スクールソーシャルワーカーへのスーパーバイズを実施した。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
スクールソーシャルワーカー等の活動回数 （目標値の根拠） SSW・SV 12回、チーフSSW 55回×4人、 SSW 140回×5人		実績値 （回）	1,017	1,007	868	
		目標値 （回）	1,022	1,022	932	
		達成割合 （%）	99.51	98.53	93.13	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
⑧ 不登校児童・生徒支援事業	児童・生徒の不登校の要因は様々であり、それぞれの課題が解決できなかったため。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校に不登校支援協力員を配置し、各校において教室以外の居場所を確保し、支援する。 ・小学校から中学校への接続において、丁寧な引継ぎをするよう小中学校へ指導する。 ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、心の教室相談員などが適切に見立てを行い、不登校傾向にある児童・生徒に応じた支援を行う。
⑨ 適応指導教室事業	申請希望したものの、適応指導教室「ルポ」に登室することができない児童・生徒がいたため。	<ul style="list-style-type: none"> ・登室を承認された児童・生徒が適応指導教室「ルポ」での活動を通して、自ら「登校しよう」という意思が持てるよう、指導員は支援・指導していく。

基本方策7に対する評価

いじめや不登校などの学校生活における課題に対応した事業や生徒指導の充実を図っており、安全で安心して学べる環境づくりの推進に向け、事業が進められている。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

③「心の教室相談員」配置事業については、益々ニーズが増すと考えられることから、長時間の相談対応を含め、事業の効果的運用の工夫を図っていただきたい。

④スクールアドバイザー派遣事業について、大阪府北部地震後の対応支援などその機能を果たしている。成果を分かりやすくするため、指標を利用必要数に応じた対応割合としてはどうかと考える。

⑧不登校児童・生徒支援事業については、今後の方針を確実に実行することで、子どもや学校の支援の充実を図っていただきたい。

基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進など、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取り組みが必要です。

多くの学校施設で建築後相当年数が経過し、老朽化が進んでいることから、学校施設を計画的に更新整備します^{①②}。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます^③。

また、ICT（情報通信技術）を効果的に活用したわかりやすく深まる授業を実現するため、子どもが授業で使うICT機器を計画的に更新するなど教育の情報化を推進します^④。

さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減する^⑤とともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持など勤務環境の整備に取り組みます。

安全で安心な給食を安定的に提供する^{⑥⑦}ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます^⑧。

主要事業の状況

①	学校園施設維持補修事業		担当課	まなび舎整備室	事業費計 (千円)	1,547,586
概 要			実 績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆「枚方市市有建築物保全計画」(以下「保全計画」とする。)に基づき校舎、園舎、体育館等の建物や電気・機械・給排水設備等施設全般の維持保全及び予防保全工事を行う。 ◆プール施設など、保全計画外の改修工事を行う。 ◆学校園からの要望に基づき学習環境の改善等に伴う施設の整備を行う。 ◆各施設の建築物・設備などの点検業務等を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆保全計画に基づく工事を18件、保全計画外の工事を25件、震災関連工事として43件の緊急工事をおこなった。また、学校園からの要望により漏水修理や教室の扉修理、電気の器具修理を409件実施した。また、各施設の建築物や設備の点検及び、次年度の保全工事等の実施設計を行った。 			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
保全計画等の工事施工件数 (目標値の根拠) 保全計画等の施工予定件数			実績値 (件)	57	79	43
			目標値 (件)	59	81	45
			達成割合 (%)	96.61	98.00	95.55
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	枚方市市有建築物保全計画				

②	学校施設整備事業	担当課	まなび舎整備室	事業費計 (千円)	951,670	
概 要		実 績				
<p>◆平成 25 年 3 月に、国から「学校施設の老朽化対策について（学校施設老朽化対策ビジョン）」が公表された。同ビジョンにおいては、「昭和 40 年台後半から 50 年代にかけて日本全国で多くの学校建設がなされ、施設の更新時期を迎えつつある中、安全面・機能面・環境面・財政面から老朽化対策が必要である。従来は建築後 40 年程度で改築されていたが、技術的に構造躯体の延命は可能であることから、改築より費用面・環境面の負担が少なく、改築と同様の質的向上が図れる長寿命化改修へと転換することが必要である。」旨が述べられている。</p> <p>◆本市においても、多くの学校施設で建築後相当年数が経過し、老朽化が進行してきており、将来的な施設耐用年数の到来に伴い、多額の費用を要する施設の更新が一定期間に集中することから、本市財政への影響が懸念される。今後、財政負担の平準化やコストの縮減を図りつつ、時代のニーズに適した教育環境の質的向上等に向けた学校施設へ更新していくためには、計画的な施設整備を図っていく必要があることから、国の「学校施設老朽化対策ビジョン」を踏まえた、学校施設整備に関する中長期的な計画の策定に取り組むものである。その後、策定した計画に基づき、学校施設の更新を順次図っていく。</p>		<p>◆平成 29 年度桜丘小学校・香里小学校、平成 30 年度第一中学校の長寿命化改修の実施設設計が完了し、津田中学校・樟葉小学校は実施設計を進めている。</p> <p>また、工事は、桜丘小学校について完了し、香里小学校・第一中学校について本体工事を開始している。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	
基本設計・実施設計を実施した学校数 (目標値の根拠) 枚方市学校施設整備計画の第 1 期実施計画(前期)の整備校数		実績値 (校)	3	4	5	
		目標値 (校)	2	5	5	
		達成割合 (%)	150.00	80.00	100.00	
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	平成 29 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	枚方市学校施設整備計画				

③	学校規模等適正化事業	担当課	学校規模調整課	事業費計 (千円)	23,058
概 要		実 績			
<p>◆将来における適正な学校の配置等を進めるため、審議会での答申を踏まえ、基本方針を策定し学校統合に向けた取り組みを進める。</p>		<p>◆「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合に向けて理解と協力を得るため保護者や地域コミュニティと協議等を行った。</p> <p>◆樟葉小学校の教室数不足に係る課題解消のため、保護者や地域コミュニティと協議を行った。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
実施プランの策定 (目標値の根拠) 実施プラン策定に関する進捗状況		実績値 (%)	109.09	133.33	0
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
		達成割合 (%)	109.09	133.33	0

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	未達成
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

④	学校 I C T 機器等整備業務【再掲】※基本方策 1 に記載	担当課	教育政策課
---	---------------------------------	-----	-------

⑤	校務の情報化推進事業	担当課	教育政策課	事業費計 (千円)	23,206
概要		実績			
◆校務支援システムを導入し、学校における児童・生徒の情報を電子化して一元管理し、その情報を通知表、指導要録、出席簿等の作成や、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防ぎ、学校内の情報セキュリティの向上を図る。		◆平成 31 年 2 月に、校内システム担当者や教務主任等を対象に、年度移行を円滑に行うための研修を行った。 ◆平成 31 年 2 月に全教職員を対象に、システムを使用する上での困難さや事務負担の軽減等についての実感を問うアンケートを実施した。アンケートの結果を分析した結果、「成績処理・通知表作成」、「指導要録作成」、「出席簿作成」において、事務負担軽減に効果があったと思う教員の割合が、平成 29 年度と同調査と比較し合計 11 ポイント上昇した。			
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
教職員向けのアンケート調査において、通知表の作成事務にかかる時間が 5 時間未満の割合（目標値の根拠） 導入当初に設定した目標（教員の 4 人に 1 人がシステム導入以前の平均時間である 10 時間の半分以下の時間数を基準として設定）		実績値 (%)	23.10	25.60	22.30
		目標値 (%)	25.00	25.00	25.00
		達成割合 (%)	92.40	102.40	89.20
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		評価	概ね達成
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

⑥	学校給食事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円)	1,363,203
概要		実績			
◆全小学校の児童を対象に、2 箇所共同調理場及び 28 箇所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便等の業務について業務委託により実施する。 ◆全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。 ◆中学校給食は、平成 28 年度から選択制ランチボックス方式により希望する生徒への提供を行っている。		◆安全で栄養バランスの取れた美味しい学校給食を確実に児童生徒へ提供することができた。			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
小・中学校給食提供食数 (目標値の根拠) 年間の給食提供食数。 小学校は、 (1学期始業式現在の児童、教職員数) ×平均給食実施日数 中学校は、 全生徒数×目標喫食率×平均給食実施日数	実績値 (食)		4,780,222	4,923,900	4,861,772
	目標値 (食)		4,863,954	5,000,549	5,060,892
	達成割合 (%)		98.28	98.47	96.07
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価		概ね達成
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

⑦	中学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円)	4,771
概要		実績			
◆選択制の中学校給食について、喫食率向上に向けた取り組みを進める中で、生徒・保護者の意向も踏まえ、全員喫食への拡充を目指す。		◆中学校給食喫食率向上への取り組みとしては、毎月、全生徒へ向け、カラー刷りで写真付の献立表や給食だよりを発行すること、PR動画を使用しての試食会の開催、献立コンテストの開催やその入賞献立を使用した給食提供など、生徒の給食に対する興味関心を醸成するよう様々な手法で取組を進めた。喫食率については、中学校給食開始直後の平成28年4月が22.2%であったものが、30年度は、11月の33.4%をピークにほぼ横ばいの状況が続いた。 ◆全員喫食の実現に向けては、民間調理事業者の意向調査を行うとともに、5つの新しい手法と4つの比較検討項目の作成を行い、最も優れている手法について協議・検討を行った。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
中学校給食の喫食率 (目標値の根拠) 中学校給食の平成30年度目標喫食率	実績値 (%)		25.70	32.20	32.80
	目標値 (%)		30.00	40.00	45.00
	達成割合 (%)		85.67	80.50	72.89
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価		未達成だが その方向に 進んでいる
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

⑧	第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円)	160,765
概 要			実 績			
◆第三学校給食共同調理場の老朽化対策のため、既存の小学校単独調理場6箇所を共同調理場又は親子方式調理場に転換し、今後必要となる調理・配送能力を確保できるよう改築・改修を行い、小学校給食の安定的・継続的な提供を確保する。			◆2学期から招提、3学期から長尾の親子調理場の供用を開始し、招提では交北、長尾では殿二の給食調理を自校分に加えて行った。 また、次年度からの供用開始を見据え、春日、桜丘北の2カ所の親子調理場について改築・改修の工事契約を行った。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
供用開始した調理場数 (目標値の根拠) 当該年度中に供用開始する予定の調理場数 ※上記の指標に、H30年度より変更			実績値 (場数)	0	0	2
			目標値 (場数)	0	0	2
			達成割合 (%)	0	0	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	達成		
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成29年度当初実行計画				
	関連計画	—				

未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
③ 学校規模等適正化事業	「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合に向けて「実施プラン」を作成できるよう、地域や保護者と協議中のため。	地域と保護者に理解と協力を得ながら、令和元年度(2019年度)中に「実施プラン」を作成できるよう取り組む。
⑦ 中学校給食充実事業	学校別の喫食率では、50%超から20%未滿までバラつきがあり、多くの生徒が給食を選択しない理由として、友達関係で給食を選択するかどうか、影響していることもあり本来目標としていた数値に届かなかった。	更なる取り組みとして、中学校間で喫食率に50%超から20%未滿までバラつきがあるため(最大54.9%・最小15.2%)、学校の状況に応じたPR活動を行っている。

基本方策8に対する評価

学校園の施設整備やICT環境の整備、学校給食環境の整備などについては、円滑に事業実施できていると考える。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

⑦中学校給食充実事業について、更なる喫食率の向上に向けて、PR活動などに取り組んでいただきたい。

基本方策9 基礎的な知識・技術の学習機会の提供と図書館の充実

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題など、様々な課題に関する学習機会が生涯にわたって提供されることが必要です。

それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます^①。

図書館においては、資料の計画的・系統的な収集など^②の基礎的な図書館サービスを充実するとともに、居心地の良い図書館空間の提供^③と図書館内外への積極的な情報提供などにより、市民の生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための支援を強化します^④。

また、読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館の支援を強化する^⑤とともに、子どもの読書活動の推進のための取り組みや、成人の読書習慣と情報活用能力の向上に取り組みます^{⑥⑦}。

主要事業の状況

①	社会教育活動推進事業	担当課	社会教育課	事業費計 (千円)	12,067
概 要		実 績			
◆	社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。	◆	平成 30 年度は、『地域と守る、大切な“あなた”』を共通のテーマに設定し、以下の事業を実施した。		
◆	家庭教育支援事業…自分の子育てを振り返る機会を提供し、“気づき”を促す。また、親と子が協力し一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりすることで、コミュニケーションを図り、父親の家庭教育への参加を促す講座を開催する。	◆	社会教育基礎講座は、「地域で支える認知症～誰もがいつまでも安心して暮らせる社会をつくる～」に 66 人（定員 50 人）、「災害から身を守る！子育て世代編」に 12 人（定員 20 人）、「災害から身を守る！シニア編」に 22 人（定員 20 人）の参加があった。		
◆	社会教育（人権）講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座を開催する。	◆	家庭教育支援事業は、「親学び講座」に 10 人（定員 10 人）、「親子で探そう！チリメンモンスター！」に 37 人（定員 30 人）、「親子で作ろう！オリジナルスピーカー！」に 35 人（定員 30 人）、「複雑化・深刻化する思春期の“いじめ”～子どもたちの SNS の現実、知っていますか？～」に 29 人（定員 60 人）、「これって、過保護？過干渉？～子どものやる気を引き出すために～」に 21 人（定員 40 人）の参加があった。		
		◆	社会教育人権啓発事業は、「発達障がいのある大人の当事者からのメッセージ～発達障がい当事者の現状や必要なサポートについて考えてみませんか？～」に 84 人（定員 40 人）の参加があった。		
		◆	枚方市教育委員会と枚方市 P T A 協議会との共催事業「大切な人の『想い』とともに・・・」に 366 人（定員 400 人）の参加があった。		
		◆	「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」は、従来生涯学習課が補助執行により実施していたが、実施会場の生涯学習市民センターが指定管理者による運営となったことを踏まえ、平成 30 年度から、社会教育課の直接執行に移行した（直営のサンプラザ生涯学習市民センターを除く）。		

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
社会教育活動推進事業の募集人員に対する参加人数の割合 (目標値の根拠) 参加割合の目標値を80%とする	実績値 (%)		93.80	81.60	97.43
	目標値 (%)		80.00	80.00	80.00
	達成割合 (%)		117.25	102.00	121.79
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価	達成	
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

②	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	129,932
概要		実績			
◆入門書から専門書に至る難易度ごとの蔵書バランスを意識した資料及び教養を高める資料や市民のニーズ等を踏まえた、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入する。		◆図書館の蔵書となる図書を、児童書 11,460 冊、一般書 26,633 冊、合計 38,093 冊購入した。 ◆蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した、資料の計画的な収集を実施した。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
図書購入冊数 (目標値の根拠) 平成24年度～平成26年度の図書購入冊数の平均	実績値 (冊)		36,928	36,370	38,093
	目標値 (冊)		36,000	36,000	36,000
	達成割合 (%)		102.58	101.03	105.14
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価	達成	
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	枚方市立図書館第3次ランドビジョン			

③	香里ヶ丘図書館建替事業	担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	323,455
概要		実績			
◆平成29年度に解体・基本設計を完成し、現香里ヶ丘図書館を閉館する。平成30年度から現図書館を解体し、香里ヶ丘中央公園の擁壁工事完了後、図書館建物を建設する。		◆新香里ヶ丘図書館の基本設計・実施設計を夏までに完成させた。 ◆4月開始の香里ヶ丘図書館棟及び集会室棟を7月に解体完了した。 ◆隣接の公園法面工事完成後、香里ヶ丘図書館建築工事の契約手続に入った。 ◆4月、南部生涯学習市民センター1階に香里ヶ丘図書館代替サービススポットを開設。香里ヶ丘中央公園で2週間に1回、自動車文庫による代替サービスを行った。			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
香里ヶ丘図書館建替事業期間（平成28年4月1日～令和2年3月31日）における、事業の進捗割合 （目標値の根拠） 事業完了を100%とし、完了予定である平成31年度までの4年間で割った数値	実績値（%）		25.00	50.00	75.00
	目標値（%）		25.00	50.00	75.00
	達成割合（%）		100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価	達成	
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度12月補正実行計画			
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン			

④	分館・分室巡回業務	担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	14,777
概要		実績			
◆各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施している。		◆中央図書館と各図書館分館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施した。 ◆6月18日の大阪北部地震の影響で、1日巡回を運休した。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
分館・分室の巡回日数 （目標値の根拠） 平成30年度当初に予定していた年間巡回回数	実績値（日）		653	302	499
	目標値（日）		647	302	500
	達成割合（%）		100.93	100.00	99.80
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価	概ね達成	
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

⑤	コンピュータシステム運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	40,125
概要		実績			
◆図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。		◆図書館システムを引き続き運用した。また、令和3年度に行う図書館システムリプレースに向けて、検討を進めた。 ◆7分館・3分室の端末及びプリンタの更新、中央図書館選書担当の端末の増設を行った。 ◆令和元年度に行う学校図書館児童生徒用端末の導入に向けて、手続きを進めた。			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
インターネット予約件数 (目標値の根拠) 平成24年度～平成26年度のインターネット予約件数の平均	実績値 (件)		533,248	497,594	532,163	
	目標値 (件)		580,000	580,000	580,000	
	達成割合 (%)		91.94	85.79	91.75	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動 できるまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑥	読書活動推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-----------------------	-----	-------

⑦	中央図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	182,667	
概要		実績				
◆幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。		◆年間開館日数：289日 貸出冊数：901,046冊 予約受付件数(個人)：54,702件 延べ利用者数：300,450人 ◆子ども読書活動推進事業として、1年を通しておはなし会などを開催。夏休み期間に「子ども司書講座」を開催した。また、枚方市子ども夢基金を活用し、小惑星リュウグウに到着した小惑星探査機「はやぶさ2」の開発に携わったJAXA准教授の山田哲哉氏を迎えた講演会や、親子で楽しめるワークショップ、宇宙服の試着体験会等を開催した。 ◆3月に中学生を対象とした「第4回中学生ビブリオバトル」を開催した。 ◆成人対象のイベントとして、「大人の学校」やライブラリーコンサートなどのイベントを開催した。				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
中央図書館来館者数 (目標値の根拠) 平成24年度～平成26年度の中央図書館来館者数の平均	実績値 (人)		502,639	487,304	483,332	
	目標値 (人)		591,867	591,867	591,867	
	達成割合 (%)		84.92	82.33	81.66	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動 できるまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン				

⑧	生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業		担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	280,327
概要			実績			
◆市民サービスの向上と、施設の効率的な運営の観点から、生涯学習施設と図書館の複合施設の図書館6館に指定管理者制度を導入する。			◆平成30年4月、生涯学習市民センター・図書館の複合6施設（楠葉・蹉跎・御殿山・牧野・津田・菅原）に指定管理者制度を導入した。同6施設の図書館においては、開館日数・開館時間帯の拡充を行い、開館時間数を従来の約1.5倍とした。 ◆書籍消毒機や電子掲示板の設置、複合施設の特性を生かした児童・成人向けの各種事業を積極的に実施することで、利用が増加した。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
指定管理者制度を導入する施設数 (目標値の根拠) 当該年度に指定管理者制度導入を予定している施設数		実績値 (施設)	2	2	6	
		目標値 (施設)	2	2	6	
		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動 できるまち			評価	達成
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン				

基本方策9に対する評価

市民サービスの向上、施設の効率的な運営、社会教育分野等における取り組みにより、市民の学習機会の提供の工夫が行われており、円滑に事業実施できている。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

⑦中央図書館運営事業について、電子書籍の普及など読書環境の変化に伴い、来館者数の減少が見られるので、より市民ニーズに応じた図書館運営に努めていただきたい。

基本方策 10 文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進

一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、人生を豊かにすることができるようにするためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。

また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。

さらに、社会の高齢化が進む中で、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動など、様々な体験ができる機会を確保します^①。

このような機会を提供することで、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備^②に努めます。

また、文化財等の適切な保存を進める^{③④}とともに、特別史跡百済寺跡などの貴重な歴史文化遺産を生かし^⑤て、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深める^⑥とともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動の充実^{⑦⑧}やスポーツ環境の整備に取り組むとともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます^⑨。

主要事業の状況

①	野外活動センター利用促進事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	スポーツ振興課
---	-----------------------------	-----	---------

②	文化財啓発普及事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	文化財課
---	------------------------	-----	------

③	文化財保護管理事業	担当課	文化財課	事業費計 (千円)	23,540
	概要	実績			
	<ul style="list-style-type: none"> ◆茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。 ◆特別史跡百済寺跡の再整備に伴う発掘調査で出土した金属製品等の遺物について、保存科学処理の実施。 ◆特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施 ◆近年樹勢に衰えがみえつつある、府指定天然記念物枚方田中邸のむくについて、樹木診断を行い、管理計画に基づき必要な管理を行う。 ◆平成29年度までは（公財）枚方市文化財研究調査会へ委託していた①埋蔵文化財発掘調査遺物復元整理作業、②民俗文化財収集整理作業を本事業としていたが、同会解散に伴い平成30年度に事業統合するに際し、平成30年度からは①は埋蔵文化財発掘調査事業へ、②は旧田中家鋳物民俗資料館管理運営事業へ再編成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆発掘調査により出土した遺物の保存科学処理を実施。 ◆茄子作遺跡、藤田山遺跡、蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫、伝王仁墓等で、年2回の草刈りや樹木の剪定を行った。 ◆枚方田中邸のむくについては、樹木診断を実施し、今後の管理計画を立てた。また平成30年台風21号の被害を受けたため、枝の伐採等、応急処置を実施した。 			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合 (目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率(%)	実績値 (%)		100.00	100.00	100.00
	目標値 (%)		100.00	100.00	100.00
	達成割合 (%)		100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価	達成	
	市長公約				
	実行計画				
	関連計画	—			

④	市指定文化財補助事業	担当課	文化財課	事業費計 (千円)	4,789
概要		実績			
<p>◆建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円を交付する。これにより、市指定文化財の保存管理を支援する。</p> <p>◆平成30年度は、平成30年台風第21号により被害を受けた文化財の復旧の促進を図るため、当該補助対象事業に要する経費の2分の1以内で市長が定める額を交付する(平成31年3月31日申請まで)。</p>		<p>◆廃渚院観音寺鐘楼・梵鐘など3件の建造物と、意賀美神社の算額など建造物を除く有形文化財及び記念物10件に交付した(320千円)。</p> <p>◆平成30年台風21号により被害を受けた交野天神社末社貴船神社本殿(市指定有形文化財)及び交野天神社本殿(重要文化財)の修繕並びにこれら指定物件の上に倒れた木の撤去について、補助金を交付した(645千円)。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数 (目標値の根拠) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の申請件数	実績値 (件)		13	13	17
	目標値 (件)		13	13	13
	達成割合 (%)		100.00	100.00	130.77
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価	達成	
	市長公約				
	実行計画				
	関連計画	—			

⑤	特別史跡百済寺跡再整備事業	担当課	文化財課	事業費計 (千円)	90,106
概要		実績			
<p>◆平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行い、並行して整備準備を行う。また、再整備に向け、平成24年度から平成25年度に基本計画の策定と基本設計を行う。平成26年度に実施設計を行い、平成27年度より再整備工事に着手している。</p> <p>◆単年度計画事業としては目標を達成しているが、再整備計画に基づき平成30年度に事業完了としていた全体目標からは遅れが生じていることから、スケジュールを見直した上で事業完了に向け取り組む。</p>		<p>◆平成17年度から平成25年度にかけて再整備に向けて発掘調査を実施。平成30年度は回廊東半分を立体復元した。</p>			

実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
当該年度の事業進捗割合 (目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率(%) (目標)事業進捗割合の完全実施	実績値 (%)			100.00	100.00	100.00
	目標値 (%)			100.00	100.00	100.00
	達成割合 (%)			100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価	達成		
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑥	市史編さん年報発行事務		担当課	文化財課	事業費計 (千円)	8,630
概要			実績			
◆歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。			◆近世文書の複写版作成を18冊(3,804コマ)、郷土資料・行政刊行物・歴史図書等の歴史資料を784冊収集・整理・保存した。また、枚方市史年報第21号を発行した。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
市史関係の照会および市史資料の利用件数 (目標値の根拠) 直近10年間のうち、利用件数上位5年の平均値	実績値 (件)			233	284	230
	目標値 (件)			315	315	315
	達成割合 (%)			73.97	90.16	73.02
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価	未達成だが その方向に 進んでいる		
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

⑦	市民スポーツカーニバル開催事業		担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円)	1,033
概要			実績			
◆体育協会、スポーツ推進委員協議会等様々な団体の協力を得て、総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンター、野外活動センターで市民の体力向上と健康増進をはかるため、多彩なメニューを工夫して、多くの市民参加のもと事業を実施している。			◆各施設指定管理者、公益財団法人枚方体育協会、スポーツ推進委員協議会等の協力を得て、総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンター、野外活動センターの4施設で体力測定や各種スポーツ体験会等を実施した。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
参加人数 (目標値の根拠) 各施設の昨年度実績			実績値 (人)	2,723	2,720	2,685
			目標値 (人)	2,200	2,723	2,720
			達成割合 (%)	123.77	99.89	98.71
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	評価		概ね達成	
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑧	各種スポーツ大会等開催事業		担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円)	36,601
概要			実績			
◆各種競技大会（総合体育大会等）の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施。 ◆市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託して実施。			◆各種競技大会（総合体育大会等）の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施した（参加者：21,135人）。 ◆市内高校バレーボール大会を実施した（参加者：425人）。 ◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施した。（参加者：534人）			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
各種大会等参加者数 (目標値の根拠) 昨年度実績			実績値 (人)	24,316	24,918	22,094
			目標値 (人)	24,121	24,316	24,918
			達成割合 (%)	100.81	102.48	88.67
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	評価		概ね達成	
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑨	スポーツ推進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円)	1,749	
概要			実績			
◆策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。			◆策定された枚方市スポーツ推進計画に基づき、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進した。連携協定を締結したパナソニック パンサーズと学校園交流事業、市民応援デーを実施した。また、FCティアモ枚方とホームタウン承認に関して協議を行った。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
スポーツ活動者数 (目標値の根拠) 昨年度実績		実績値 (人)	1,168,701	1,128,501	1,150,649	
		目標値 (人)	1,132,000	1,168,701	1,128,501	
		達成割合 (%)	103.24	96.56	101.97	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			評価	達成
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
⑥ 市史編さん年報発行事務	市史関係について庁内からの照会件数が平成 28 年度から減少している(27 年度 89 件、28 年度 59 件、29 年度 57 件、30 年度 35 件)。文化財課内での業務の割振りを変更し、課全体で照会に対応した結果、市史資料室における実績値が減少し未達成となった。	庁内からの照会に対応できるように市史資料室の業務体制を整える。

基本方策 10 に対する評価

文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進という基本的な方策に対し、多くの文化的施設を活用して、児童・生徒が文化・芸術・歴史に親しめる取り組みが推進できている。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

⑥市史編さん年報発行事務について、市史資料の利用件数で評価しているが、史料の収集・整理・保存も成果であるので、より適した評価の指標について検討していただきたい。

その他の主要事業

主要事業の状況

1	児童の放課後対策事業		担当課	社会教育課	事業費計 (千円)	23,979
概要			実績			
<p>◆全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、本市の児童の放課後のありかたに関する基本的な考え方や、本市の取り組みの実績等を踏まえ、さらにさまざまな立場からの意見を聴取し、試行的に放課後子ども教室モデル事業を実施する。子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために今後策定する「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に行う。</p>			<p>◆放課後子ども教室モデル事業を以下のとおり実施し、参加児童及びその保護者のニーズ調査を実施した。</p> <p>1. 第1クール</p> <p>(1) 実施校：市立小学校4校（蹉跎・山田・津田・樟葉北）</p> <p>(2) 実施内容：放課後の校庭・指定専用室・図書室等における児童の活動の安全確保・助言</p> <p>(3) 実施期間・実施日数：平成30年10月1日から平成30年11月17日まで（うち各校22日間実施）</p> <p>(4) 延べ参加者数：2,014人（4校合計）</p> <p>2. 第2クール</p> <p>(1) 実施校：市立小学校4校（蹉跎・山田・津田・樟葉北）</p> <p>(2) 実施内容：放課後の校庭・指定専用室・図書室等における児童の活動の安全確保・助言及び教室における体験活動に係る指導・助言</p> <p>(3) 実施期間・実施日数：平成30年11月19日から平成31年2月16日まで（うち各校50日または51日間実施）</p> <p>(4) 延べ参加者数：3,847人（4校合計）</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
児童及び保護者へのアンケート調査における放課後子ども教室モデル事業に対する満足度（目標値の根拠） 満足及びやや満足の割合の目標値を80%とする			実績値 (%)		89.00	87.50
			目標値 (%)		85.00	80.00
			達成割合 (%)		104.71	109.38
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	評価	達成		
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成30年度当初実行計画				
	関連計画	—				

2	留守家庭児童会室整備事業		担当課	放課後子ども課	事業費計 (千円)	69,315
概要			実績			
<p>◆平成29年度からの対象学年の段階的拡大に向け、入室児童数の増加に対応するために必要な施設整備を行う。</p>			<p>◆磯島及び桜丘留守家庭児童会室の増築工事を終了し、平成30年4月1日より供用を開始した。</p> <p>◆平成30年11月から香陽留守家庭児童会室の建替工事に着手したが、全国的な建設需要の高まりから建築資材（高力ボルト）の受注が追い付かず、入荷できない状況となり、予算を令和元年度に繰り越すとともに、工期を3カ月延長した。また、老朽化に伴う空調設備の更新等も実施した。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
留守家庭児童会室建替等件数 (目標値の根拠) 留守家庭児童会室施設整備計画のとおり			実績値 (件)	4	2	0.5
			目標値 (件)	4	2	1
			達成割合 (%)	100.00	100.00	50.00

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	評価	未達成だが その方向に 進んでいる
	市長公約	平成 29 年度市政運営方針		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

未達成事業への対応

事業名		未達成理由	今後の方向性
2	留守家庭児童会室整備事業	全国的な建設需要の高まりから建築用資材（高力ボルト）の受注が追い付かず、入荷できない状況となったため	平成 30 年度からの香陽留守家庭児童会室の建替工事を完了し、7月から供用を開始する。

その他の主要事業に対する評価

放課後に就学児童が健全かつ安全・安心に過ごせるよう実施された放課後対策事業について、利用者のアンケート結果からも満足していただいている状況が伺える。

今後とも、子どもたちが放課後においても安全かつ安心に過ごせるよう事業を計画的に推進していただきたい。

7. 枚方市教育委員会の平成 30 年度の活動の概要

枚方市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長と 4 人の委員により組織される合議制の執行機関であり、その権限に属する教育に関する事務を管理執行しています。教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。教育長の任期は 3 年、委員の任期は 4 年です。

【教育委員会の構成】

(平成31年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	奈 良 渉	平成28年 4 月 1 日～ 平成31年 (2019年) 3 月 31 日
教育委員	神田 裕史	平成29年 4 月 1 日～ 令和 3 年 (2021年) 3 月 31 日
教育委員	橋野 陽子	平成28年 4 月 1 日～ 令和 2 年 (2020年) 3 月 31 日
教育委員	谷元 紀之	平成28年 9 月 27 日～ 平成31年 (2019年) 3 月 31 日
教育委員	近藤 孝	平成30年 4 月 1 日～ 令和 4 年 (2022年) 3 月 31 日

(1) 平成30年度教育委員会定例会・臨時会の開催実績

教育委員会の会議は原則として毎月定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。定例会とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の規定に基づき、枚方市教育委員会会議規則第 2 条第 2 項の規定により毎月 1 回開催する会議です。臨時会は、同規則第 2 条第 3 項の規定により臨時に開催する会議です。

(2) 平成 30 年度教育委員会協議会案件

教育委員会協議会は、枚方市教育委員会会議規則第18条の規定により、委員会の所管事項について、教育長から報告を受ける必要があると認めるとき、又は特定の事項について調査、研究等の必要があると認めるときに開催する会議です。

【平成 30 年度教育委員会定例会・臨時会の開催実績及び協議会案件】

区分	年 月 日	日数 (日)	出席 委員数 (人)	審 議 内 容 (件)								協議会 案件数
				原案 可決	修正 可決	選挙	承認	不 採択	継続	聴取	計	
平成30年第 4 回 定例会・協議会	平成30年 4 月 20 日	1	5	2	-	-	1	-	-	-	3	1
平成30年第 5 回 定例会・協議会	平成30年 5 月 24 日	1	5	4	-	-	1	-	-	1	6	5

区分	年 月 日	日数 (日)	出席 委員数 (人)	審 議 内 容 (件)								協議会 案件数
				原案 可決	修正 可決	選挙	承認	不 採択	継続	聴取	計	
平成30年第6回 定例会・協議会	平成30年6月28日	1	5	2	-	-	1	-	-	-	3	1
平成30年第7回 定例会・協議会	平成30年7月23日	1	5	1	-	-	1	-	-	-	2	3
平成30年第8回 定例会・協議会	平成30年8月31日	1	5	3	-	-	2	-	-	-	5	8
平成30年第9回 定例会・協議会	平成30年9月18日	1	5	1	-	-	2	-	-	-	3	1
平成30年第10回 定例会・協議会	平成30年10月30日	1	5	2	-	-	1	-	-	-	3	2
平成30年第11回 定例会・協議会	平成30年11月26日	1	5	4	-	-	3	-	-	1	8	7
平成30年第12回 定例会・協議会	平成30年12月21日	1	5	5	-	-	2	-	-	-	7	-
平成31年第1回 定例会・協議会	平成31年1月25日	1	5	1	-	-	1	-	-	-	2	-
協議会のみ	平成31年2月1日	1	5									1
平成31年第2回 定例会・協議会	平成31年2月22日	1	5	3	-	-	3	-	-	-	6	8
平成31年第3回 定例会・協議会	平成31年3月19日	1	5	2	-	-	1	-	-	-	3	2

(3) 平成30年度教育委員会の活動状況

	会議・行事等	出席回数		
		H28年度	H29年度	H30年度
①	学校関係（式典、行事等）	13回	19回	17回
②	学校関係（授業視察等）	35回	24回	21回
③	教育委員会関係（式典、会議、行事等）	81回	93回	67回
④	枚方市、市議会、各種団体関係（式典、会議、行事等）	35回	34回	34回
⑤	教育長協議会、会議研修等	18回	16回	29回
⑥	教育委員研修会等	6回	7回	7回
合計		188回	193回	175回